

平成30年度町政懇話会 議事概要

日 時：平成30年6月21日（木）
19時00分～20時30分
場 所：生涯学習センター

出席者：間宮町長、井上副町長、夏苺教育長、矢吹防災安全室長、米山生活環境課長、井上防災安全室主幹、内藤生活環境課副主幹

事務局：湯川町民課長、清水副課長、皆木主幹、柏木主任主事

参加者数：24人

1 開会

町民課長より開会のあいさつ

2 町長あいさつ

間宮町長よりあいさつ

3 出席者紹介

出席者よりあいさつ

4 テーマ別説明

(1) 土砂災害・洪水ハザードマップについて 防災安全室長より説明

(2) ごみの減量化について 生活環境課長より説明

【質疑・応答】

○ 酒匂川の堤防がすべて決壊することなのか？大井高校も指定されているが、実際に起きたら西大井地区はどこに避難するのか？

→ 最大想定なのでどこが決壊するかではなく、1000年に1回程度起こる確率で浸水想定している。西大井地区の方は、まずは湘光中学校に避難してもらい、被害状況によっては総合体育館にも避難できる。

○ 事業所も必要ない容器包装しているので、拡大生産者責任ということで事業者の責任において、収集してもらうように町から指導したらどうか？焼却炉など費用がかかる、ごみを減量すれば炉の維持管理の経費の節減ができると思う。このことをもっと周知徹底すべきである。最終処分場の処理量にも限りがある。こういうこともPRすべきである。

→ 事業所にも責任はあると思う。各種団体には県から検討対応している。団体としてしっかりやっていくという意見を伺っている。町からも声かけをしていきたい。東部清掃組合関係については、周知徹底していきたい。既に、もっとPRするよう提案をいただいているのでやっていきたい。町民の方が関心持ってもらえるようにしていきたい。提案として伺う。

- 地域において、ゴミの出し方がとても悪いと思う。分別方法を理解していない人が多いと思う。意識を変えるにはどうしたらよいのか？町として検討すべき。PRすべき。
 - 地域の皆さんの協力がなくてできないことである。いろいろ考えてもらいたい。ごみの出し方は永遠の課題だと思うが、よい取り組み事例を参考に紹介できればと思う。今後も地域の皆さんの協力を願う。

- 県内市町村での順位は低いと説明があった。町民の意識改革を行い、ごみの減量をしていくよう徹底していくべきではないか？町全体で取り組むべきと思うが、どうか？
 - 調査順位に信憑性がどうか疑問ではあるが、意見のとおりと思う。ごみの減量をやっていききたい。

- はがきや通知で個人情報があるものは燃えるものとして出していた。シュレッダーすれば雑紙として出してよいのか？
 - そのとおりです。

- ブロック塀の点検をぜひ実施してほしい。また、あいさつ+ONEについて、日頃からが大事だと思う。環境づくりが重要と思う。にこにこパトロール隊の情報交換できる場があってよいのではないかと情報の共有化が必要と思う。
 - ブロック塀については、調査したかどうかの経緯は不明だが、数の問題でできるかどうか疑問である。また、生垣への変更にも助成制度もあったが、利用者いないためスクラップしたことがある。今後、国から何らかの方針が出されるのではないかと。あいさつ+ONEの運動もマンネリ化してきてはいるが、互いにあいさつできる社会にしていきたい。にこにこパトロール隊は当初ボランティアで発足した。意見交換の場をどのような範囲で行うかなど内部で協議していく。

- 町は自然環境が多く、歴史的なものも多くあり、社会資源を町外へもっとPRすべきではないか？町の知名度も上がるのではないかと移住にも繋がると思う。
 - 当事者だと気が付かない面もあるが、田舎の良さをアピールしていければと思う。更なる知恵を貸していただければ幸いです。

5 閉会

井上副町長より閉会のあいさつ